

●まちづくりカフェ



4・5_ギャラリーの活用に意見とアイデアを出し合う参加者たち。20歳代から90歳代までの幅広い年齢層が熱心に話し合った



6_テーブルごとに意見発表する参加者。この班では、七五三、成人式、結婚式、金婚式の節目を飾るイベント利用の提案が出された



3_イベントを盛り上げるために登場した御船町PRキャラクター「ふねまる」。愛くるしい仕草で会場の雰囲気を楽しませていた



1_南蔵で開催した「まちづくりカフェ」に町内外から参加者が訪れた 2_「にわか劇」を見事に演じきった柴田恒美さん④と植田直仁さん④



ギャラリー活用から探る「まちづくり」の方向性。

御

船町みんなで作る町の基本条例素案検討委員会（中村幸雄委員長）は7月28日、「まちづくりカフェ」と銘打った意見交換を街なかギャラリーで開催しました。

この催しは、「まちづくりのルール」といわれる自治基本条例の素案づくりを目指す同委員会が一般住民の意見を幅広く取り入れることを目的とした初の試みです。

まちづくりカフェでは、自治基本条例を参加者に分かりやすく伝えるために、町民の検討委員が脚本と主演を務め「にわか劇」を上演。ユーモラスたっぷりに熱演して会場の笑いを誘いながら、中村幸雄委員長が条例づくりの背景や必要性を説明しました。

メインの意見交換では、まちづくりのひとつとして「街なかギャラリーの活用方法」をテーマに、参加した約50人が各テーブルで話し合いました。意見発表では、▼ジャズコンサート▼ファッションショー▼〇〇名人の知恵教

室▼竹灯ろう祭り▼野菜市・マルシェ▼合コン・婚活パーティー▼結婚式▼マーケッ
ト・蚤の市▼和風カフェ▼白壁の写真展▼浜田知明・井手宣道の作品展▼などの利活用方法が提案。常設イベントでの固定客の取り込みや季節を絞ったイベント開催を望む声が多く挙がりました。

検討委員会では、住民や団体、議会との意見交換を図りながら、「御船町のルール」自治基本条例の素案づくりを進めていきます。

アイデア実現への優先順位 町民と行政のルールづくり



高橋 寛敦 商工観光推進係長

今回、数多くの意見や提案をいただきました。参加者からのアイデアは、優先順位をつけて実行可能なものから取り組んでいきたいと考えています。

しかし、すべてのアイデアを町だけで取り組んでいくことは難しいことも事実です。そこで、▼町民の皆さんが取り組めること▼町と一緒に取り組むこと一を整理して、取り組みやすいルールを作っていけたらと思います。

町民と行政が互いに情報を共有し合い協力することが「御船町みんなで作る町の基本条例」に結びついていくと思います。

Interview



村田 勇太さん（辺田見・18歳）

知人に誘われて参加した。ギャラリーは予想以上にきれいで、近代的な建物より好印象。婚活や食事、コンサート、竹の水あかりイベントに活用できたら面白い。大学で建築を学んでいるので、その知識を生かして町に貢献したい。



深町 小春さん（滝川・28歳）

まちづくりの基本は人と人とのつながりだと思う。ギャラリーは和風な建物なので、伝統工芸品を展示すると面白い。今回のカフェで、幅広い年代の人と交流ができた。まちづくり参加への第一歩が踏み出せたと思う。

●問い合わせ ▼自治基本条例/役場秘書係 ☎282-1392

●街なかギャラリー

1802年建築の大規模町家で、熊本県内でも最も古い建造物のひとつと言われる。かつて御船町の本町通りは、「酒造りのまち」として栄え、白壁土蔵造りの酒蔵や商家が立ち並び風情ある場所として親しまれてきた。昔の風景が消えていくなか、往時の面影と記憶を残す建物として、

「街なかギャラリー」は補修と復元を行い、平成26年4月20日に生まれ変わった。街なかギャラリー内部は、▼主屋▼北蔵▼南蔵▼離れ一の4棟に分かれる。主屋は、個展や文化交流の場として、北蔵は絵画や写真の展示、南蔵はミニコンサートやワークショップなどに利用できる多機能施設である。

Gallery



主屋

南蔵

●問い合わせ ▼街なかギャラリー/役場商工観光推進係 ☎282-1226